

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. アスリートドックプロジェクト

本学学生を含め、子供からシニア選手までの幅広い年代の、多様な競技種目のアスリートを対象として、競技力向上のための体力・技術の評価を行い、それをフィードバックする「アスリートドックプロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

2. 子供の体力向上プロジェクト

本センターの研究協力校と連携し、学校教育の中で実施可能な、児童生徒の体力を増進するための運動プログラムを開発する「子供貯筋プロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

II. 事業報告

1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

該当なし

2. 研究プロジェクト

① アスリートドックプロジェクト

本学の各種競技選手（剣道、バスケ、体操、陸上、自転車など）を対象とした研究（山本）
高校生の柔道選手（鹿児島県立鹿児島南高校）を対象とした研究（藤田）
高校生の自転車競技選手（鹿児島県立南大隅高校）を対象とした研究（山本）
中学生の陸上競技選手（鹿屋市立吾平中学校）を対象とした研究（高井）
小・中学生の柔道選手（福岡県柔道協会）を対象とした研究（藤田）
スポーツ選手・登山者のための低酸素トレーニングプログラムの開発（山本）

② 学校現場で活用できる体力向上を促す運動プログラムの開発

小・中学校（花岡学園）での研究（高井）

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

① 鹿児島県教育委員会と連携して、スポーツ指導者のための再研修セミナー「スポーツリフレッシュセミナー」を、1泊2日で開催した（山本）

② 鹿児島県教育委員会と連携して、鹿児島国体に向けての各種競技団体の体力測定を実施した（高井）

③ 福岡県柔道協会・九州柔道協会と連携して、福岡県小・中学生柔道選手ならびに九州各県の中学生選抜選手の体力測定を実施した（藤田）

4. その他

① スポーツカウンセリング室を運営した（山本）

Ⅲ. 決算報告

1. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	0 千円	
物件費	0 千円	
その他	0 千円	
計	0 千円	

2. 研究プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	30 千円	研究協力校に対する謝金
物件費	2,989 千円	消耗品、修繕費 等
その他	1,302 千円	図書購入費、旅費 等
計	4,321 千円	

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	0 千円	
物件費	794 千円	ニューズレター、トレセン報告書
その他	251 千円	研究協力担当教員旅費 等
計	1,045 千円	

4. その他

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	378 千円	カウンセリング室運営
物件費	106 千円	その他消耗品
	5,508 千円	肺運動負荷モニタリング（平成 29 年度補正予算）
その他	154 千円	郵送料、プレハブ撤去 等
計	6,146 千円	

Ⅳ. その他

1. 発刊物

『スポーツトレーニング科学』第 19 巻の刊行（平成 30 年 3 月）

『トレセンニューズレター』第 22 号の発行（平成 29 年 12 月）

2. 開催会議状況

本センターの協力校等連絡会議の開催（平成 29 年 7 月）

*以上の事業に関する報告の詳細は『スポーツトレーニング科学』19 巻（1-83 頁）に記載